

『全球・領域気候モデルにおける環オホーツク地域の相互比較』  
研究代表；小守信正（JAMSTEC）

日時：8月2日―3日

場所：低温研講義室(215)

8月2日(木)

13:30-13:40 小守・三寺：挨拶・趣旨説明

【座長：中村】

13:40-14:10 木村「いろいろなスケールでの海水変動の話」

14:10-14:40 佐伯「アイスバンドと海洋への影響」

14:40-14:55 《休憩》

14:55-15:25 松田「オホーツク海高解像度モデリング」

15:25-15:55 三寺「アムール川河口域の数値シミュレーション」

15:55-16:10 《休憩》

【座長：三寺】

16:10-16:40 中野渡「オホーツク海中層水温の経年変動に関する数値実験」

16:40-17:10 木田「オホーツク-太平洋の水塊交換」

17:10-17:25 《休憩》

17:25-17:55 中村（未定）

17:55-18:25 小守（未定）

8月3日(金)

【座長：小守】

09:00-09:30 本田「日本の冬季降積雪分布にかかわる日本海の海面水温変動」

09:30-10:00 田口「秋の北極海と冬のオホーツク海に於ける海氷の十年規模共変動」

10:00-10:30 小木「北極海の海氷面積と夏の大気循環の関係～最近の傾向～」

10:30-10:45 《休憩》

10:45-11:15 山崎「渦と渦の相互作用による大気ブロッキング持続メカニズム」

11:15-11:45 高谷「冬季東アジアモンスーンとENSOとの関係」

11:45-12:00 総合討論